

原文

ジュネーブ条約第一追加議定書の内容について、誤解するおそれのある表現である。

2004年、米軍の行動に関連して有事関連の法案がつぎつぎと改定・制定された。その際に、国際人道法などとの関連で、これまで未批准^{ひじゅん}だったジュネーブ条約第一追加議定書^{ぎていしよ}が可決された。これにより、日本国内でもある地域が一定の条件のもとで「無防備地域宣言」すると、その地域へのいっさいの武力攻撃は禁じられることになった。
住民のなかから、自治体に対してこの「無防備地域宣言」をおこなうよう働きかける動きが起きている。

修正文

2004年、米軍の行動に関連して有事関連の法案がつぎつぎと改定・制定された。その際に、国際人道法などとの関連で、これまで未批准^{ひじゅん}だったジュネーブ条約第一追加議定書^{ぎていしよ}が可決された。これにより、交戦関係にある一方の国のある地域が一定の条件のもとで「無防備地区宣言」すると、相手国からのその地域への武力攻撃が禁じられることになった。
住民のなかからは、自治体に対し平時から「無防備地域宣言」するよう働きかける動きが起きている。